

神実様遷座並に鎮座祭祭文

これの木きの香か新しい御社おやしるを清らかに払い清めて今いまし厳おごそかにお遷うつり頂きお鎮しずめ申し上げました、くにとこたちのみこと、をもちたりのみこと、くにさづちのみこと、月よみのみこと、くもよみのみこと、かしこねのみこと、たいしよく天のみこと、をふとのべのみこと、いざなぎのみこと、いざなみのみことなる親神天理王命の御前に天理教 分教会長 慎んで申し上げます。

親神様には私たち人間の上に片時の休みもなく親心一条にお働き下され、お陰で毎日明るく陽気に暮らさせて頂きまこと洵に感謝の念に堪えません。

さてこの 布教所は昭和 年 月 日 氏を所

長として開設されましたが、早や 年の風雪をしのぎ順調に今日の姿にまでお連れ通り下され家族もそれぞれ成人させて頂きました。本日は所長の母 刀と自じの 年祭をつとめさ

せて頂くに当たり、教祖 年祭の年にふさわしく一より始めるの心を定め、御社も新しくして 刀自の遺族の方々一同の参列もとの下、神実様かんぎねさまを只今おごそ厳おごそかに鎮座ちんざさせて頂きました。

これより後は教祖存命の理を心に体たいし、なってくる総すべてを御理りに照らして判断し、ひながたの道をいよく 身近に拝して教祖に、ご満足頂く歩みを心掛け、来秋迎える立教 年目指して、にをいがけおたすけの上にも一段と拍車をかけて参ります。親神様には馳せ巡る先々に不思議な理の働きをお見せ下され、思召下さる陽気ぐらしの実じつが次々と拡がって参ります。ようお導きの程を、一同と共に慎んでお願い申し上げます。